

育てたい 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・園での生活や保育者に慣れ、安心して過ごす。 ・体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。 	
生命の保持と 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの健康及び発達を把握し、生理的欲求を満たす。 ・担当する保育者が子どもの不安や欲求を受け止め、安心して過ごせるようにする。 	
	◎ねらい 内容	☆環境構成 ○保育者の援助
健康 健康な体をつくる力	◎ 保育者に見守られながら、自分のしたい遊びを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・室内や戸外で体を動かして遊ぶ。 ・保育者に援助され、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。 ・友達と一緒に楽しく食事をする。 ・保育者の言葉かけでトイレに行き、見守られて排泄する。 	☆ 安心した生活が送れるように、ゆったりとした雰囲気や家庭にもあるような親しみのある遊具を用意する。 ☆ 食器に手を添えて食べられるように、発達に合った食具を準備する。 ○ 排泄や午睡などが安心してできるように、ゆったりとした生活リズムと雰囲気作りを心掛ける。
人間関係 人とかわかる力	◎ 身の回りに様々な人がいることを知り、身近な人や友達に親しみを持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活の場や人に慣れ、好きな遊具や玩具で遊ぶ。 	☆ 子どもが安定するように担当制で保育する。 ○ 一人一人の子どもの気持ちを大切に受け止め、安心して過ごせるように、子どもとの信頼関係を築く。
環境 自然や身近な環境にかかわる力	◎ 広い場所や戸外などの開放的な環境で保育者や友達と遊ぶことを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の言葉かけで、危ないことが分かる。 ・春の草花など、自然物を見たり触れたりする。 ・自分のタオル・靴箱・玩具の置き場所などが分かる。 	☆ 自分の持ち物の場所や玩具の場所が分かるように、マークを付けたり写真を貼ったりする。 ○ 不安定な気持ちを受け止めながら、少しずつ新しい環境に慣れるようにする。
言葉 思いを伝える力	◎ 簡単で、繰り返しのある絵本や紙芝居を楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に絵本や紙芝居を読んでもらうことを喜ぶ。 ◎ 保育者とかわりながら簡単な挨拶や返事をするを喜ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な言葉を知る。 ・保育者や友達の名前を覚えて呼ぼうとする。 	☆ 子どもの話を優しく受け止め、話したいと思えるような環境を作る。 ○ 子どもが自らやってみようという意欲的な気持ちになるように「~しようね」など、前向きな言葉で話しかける。 ○ 「貸して」「いいよ」「待っててね」などの貸し借りや順番を待つことを言葉で伝える。 ○ 危険な場所に行かないことや、してはいけないことが分かるように、繰り返し知らせる。
表現 感性を豊かに表現する力	◎ 保育者と一緒に、歌や体で表現することを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・知っている歌を歌ったり、保育者と一緒に手遊びをしたりする。 ・音楽に合わせて楽しんで体を動かす。 	☆ 季節の歌や子どもの興味のある曲を用意し、歌ったり曲をかけて一緒に踊ったりする。 ○ 作ったもので見立て遊びをし、一緒に遊ぶ楽しさを経験できるようにする。 ○ 手指の遊びでは、保育者も一緒にしながら、できた喜びを味わえるようにし、もっとしたい気持ちが育つようにする。
行 事	家庭・地域との連携	
入所(園)式 進級式 子どもの日の集い	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での子どもの生活リズムを把握する。 ・自我が芽生え何でも自分でやれたがるが、うまくいかず失敗することも多い時期だということを知らせる。 	

2 歳 児 II 期 (6月~8月)

育てたい 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者に思いを受け止めてもらい、生活や遊びへの意欲を持つようになる。 ・ 砂や水を使って、全身を使う活動を楽しむ。 	
生命の保持と 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季の保育衛生や健康状態に気を配り、水分補給や休息など活動のバランスに配慮する。 ・ 一人一人の子どもの思いや気持ちを受け止め、安心して自己主張が出来るようにする。 	
	◎ねらい 内容	☆環境構成 ○保育者の援助
健康 健康な体をつくる力	◎ 簡単な身の回りのことをしようとする。 ・ 見守られたり手伝ってもらったりしながら、衣服の着脱を自分でしようとする。 ・ 手を洗う・鼻を拭く・口の周りを拭くなど、保育者に手伝ってもらいながら少しずつ自分でする。	☆ 夏の衛生管理に十分留意する。 ☆ 自分でしたいという気持ちに寄り添い、子どもの目線に合わせた環境を整える。 ○ 健康状態に気を付け、水分補給や休息と活動のバランスを配慮する。 ○ 身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切に、ゆとりを持って見守ったり励ましたりしながら意欲につなぐ。
人間関係 人とかかわる力	◎ 保育者を仲立ちにして、友達とのかかわりを楽しむ。 ・ 保育者に気持ちを受け止めてもらい、少しずつ友達とのかかわりを持つ。 ・ 見立て遊び・つもり遊びなど、保育者と一緒に模倣して遊ぶ。	☆ 見立て遊び・つもり遊びが楽しくなるような環境を用意する。 ○ 保育者が仲立ちとなり、気持ちを汲み取って言葉で伝えたり見守ったりして、相手の気持ちに気付くようにする。 ○ 一人一人の思いを受け入れながら、よいこと・悪いことを言葉で伝える。
環境 自然や身近な環境にかかわる力	◎ 水や土の感触を味わいながら、夏の遊びを十分楽しむ。 ・ 砂・土・泥・水に触れて楽しんで遊ぶ。 ・ 自分の物・人の物の区別気付くようになる。	☆ 自然や身近な事物と十分に触れ合えるように、安全や衛生面に留意する。 ☆ プール遊びは転倒を防ぐために周りに滑りにくい物を敷いたり、水位・温度・保育者の配置に注意したりする。 ☆ 着替えや持ち物など、自分で取り出しやすいように工夫する。 ○ 子どもが自分から自然にかかわろうとする気持ちを大切にすると共に、保育者自身も親しみや愛情を持ってかかわる。
言葉 思いを伝える力	◎ 保育者に自分の気持ちを安心して表わそうとする。 ・ 自分のしたいことやして欲しいことを簡単な言葉や仕草で伝えようとする。 ・ 絵本の中の簡単な言葉を繰り返して遊ぶ。	☆ 季節の絵本や繰り返しのあるお話などを用意する。 ○ 伝えることが楽しいと思えるように、子どもの言葉やしぐさを優しく受け止める。
表現 感性を豊かに表現する力	◎ 様々な素材に触れ、遊んだり描いたりすることを楽しむ。 ・ 絵の具などで思いのままになぐり描きをする。 ◎ 保育者や友達と一緒に体を動かすことを楽しむ。 ・ 好きな曲やリズムに合わせて踊る。	☆ 十分な活動ができるように、広い場所に準備する。 ○ なぐり描き・はじき絵・ぬりたくりなど、腕を大きく動かして描かけるようにする。 ○ 子どもが十分体を動かせるような動きの工夫をする。
行事	家庭・地域との連携	
プール開き 七夕の集い 夏祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ やりたいという気持ちを認め、次への意欲が育つように、温かく見守っていくことの大切さを共有し合う。 ・ 水遊びの準備・健康カード・自分で着脱しやすい服の補充を依頼する。 	

<p>育てたい 子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ こだわりや自己主張をしながら、安心して生活したり遊んだりする。 ・ 保育者と一緒に、全身を使う活動を十分楽しむ。 	
<p>生命の保持と 情緒の安定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残暑による疲れ・心身の状態を把握し、水分や休憩を十分に取れるようにする。 ・ 一人一人の子どもの動きや成長を受け止め、自分でしようとする気持ちを育てる。 	
	<p>◎ねらい 内容</p>	<p>☆環境構成 ○保育者の援助</p>
<p>健康 健康な体をつくる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 戸外で十分体を動かし、全身を使った遊びを楽しむ。 ・ 走る・飛ぶ・押す・引っ張るなど全身を使って遊ぶ。 ◎ 保育者の援助を受けながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ・ 尿意や便意を感じたら保育者に伝え、見守られながら排泄する。 ・ 保育者に見守られながら、簡単な衣服を一人で着脱しようとし、服の前後、表裏も意識しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 一人一人の子どもの発達段階を把握し、運動遊びに取り入れる。 ☆ 子どもの発達や興味に合わせて、体を十分に動かし、安全に遊べる広い場所を用意する。 ○ 基本的な生活習慣については、一人一人の発達状態に対応し、自分でしようとする気持ちを大切にしながら見守る。 ○ 動きが活発になってくるので、安全に遊べるように保育者間の動きや安全に気を配る。
<p>人間関係 人とかわる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 保育者を仲立ちとして、友達とかかわって遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 友達との玩具の取り合いなどのトラブルの中で、保育者を仲立ちとして相手の思いを知る。 ・ 遊びや生活の中で、「順番」「待つ」などのきまりがあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 同じ場所にいる友達と一緒に、イメージを膨らませられるように、遊びに必要な物や場を用意する。 ○ トラブルとなった原因を把握し見守りながら仲立をし、互いの気持ちを受け止める。 ○ 運動会では、順番が来るまで待つことや、合図を聞いて走るなどのルールがあることを知らせる。
<p>環境 自然や身近な環境にかかわる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 夏から秋の自然に触れながら遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 保育者や友達と一緒に遠足や散歩に出かける。 ・ 虫を見付けたり芋掘りを経験したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 遠足や散歩を通して、自然に触れる機会を十分に持つようにする。 ○ 子どもの発見や驚きに共感する。
<p>言葉 思いを伝える力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 身近な生活を通して保育者や友達に気持ちを伝えたり、やりとりを楽しんだりする。 ・ 絵本や紙芝居の簡単な言葉の繰り返しを真似て遊ぶ。 ・ 見立て遊びやつもり遊びをして言葉のやりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 子どもの興味に合った絵本や紙芝居を用意する。 ☆ 見立て遊びやつもり遊びが楽しくなるように、イメージが膨らむような道具を用意する。 ○ 言葉の習得の時期なので、保育者は正しく言葉を使ってかわる。
<p>表現 感性を豊かに表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 歌やリズムに合わせて、体を動かすことを楽しむ。 ・ 音楽に合わせて、自分なりに体を動かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ リズミカルな音楽や、子どもの好きな曲を用意する。 ○ 保育者の動きを真似ながら、楽しんで体の様々な部分を動かせるように工夫する。
<p>行 事</p>	<p>家 庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	
<p>祖父母交流 運動会 遠足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着替えを多めに用意してもらおう。 ・ 自己主張が順調な発達の道筋であることを伝える。 	

2 歳 児 IV 期 (11月~12月)

育てたい 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを持つ。 ・生活に必要な言葉が分かるようになり、要求や欲求を言葉で表わす。 	
生命の保持と 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に応じて衣服を調節し、薄着で過ごせるようにする。 ・一人一人の子どもの思いを受け止め、自分の気持ちを簡単な言葉で表わせるようにする。 	
	◎ねらい ・内容	☆環境構成 ○保育者の援助
健康 (健康な体をつくる力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・鼻水がでたときには、保育者に知らせたり自分で鼻水を拭こうとしたりする。 ◎ 保育者や友達と一緒に、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・散歩に出かけたり、戸外で全身を使って遊んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ ティッシュペーパーやゴミ箱は、子どもの手の届くところに準備し、自分でできる環境を整える。 ☆ 寒い日でも体を動かすことで温かく過ごせるように保育者が率先して活動的に遊ぶようにする。 ○ 保育者は、全体を見渡せる場所に位置し、必要に応じて援助できるようにする。 ○ 危険を判断する力がまだ十分でないため、安全に遊べるようにしっかりと見守る。
人間関係 (人とかかわる力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 保育者を仲立ちとして同じ場にいる友達と一緒に、見立て遊び・つもり遊びを楽しむ。 ・同じ場で遊ぶ友達の気持を知り、遊具や道具を貸したり、順番を守り交代したりして遊ぼうとする。 ・ままごとや砂遊びを通して、友達とかかわりを持ちながら、ごっこ遊びをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 友達との遊びやかかわりが広がるような、環境を整える。 ○ 保育者も一緒に遊びながら、子どもがイメージしていることや互いの気持を代弁し、知らせる。 ○ 好きなおもちゃを使い、ままごとなどのごっこ遊びを十分に楽しめるように、子ども同士のやりとりを見守る。
環境 (自然や身近な環境にかかわる力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 秋から冬にかけての自然に触れて、遊ぶことを楽しむ。 ・落ち葉や木の実などを集めたり、それらを使って遊んだりする。 ・身近なものの色・形に興味や関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 散歩や園外に出ることが増えるので、無理のないようにコースや時間を考慮する。 ☆ 遊びに自然物を利用し、興味が広がるようにする。 ○ 身近な自然に興味や関心を示す子どもの言葉・身振り・気持ち・表情を受け止め、丁寧に答えたり共感したりする。
言葉 (思いを伝える力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 経験したこと・して欲しいことなどを言葉で表わそうとする。 ・保育者や友達と簡単なごっこ遊びや言葉のやりとりをする。 ・生活に必要な言葉が分かり、様々なことに興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 落ち着いた環境の中で、一人一人の話をゆったりと聞く時間を持つ。 ○ ごっこ遊びの中で、楽しい会話や言葉のやり取りに気付くような援助をする。 ○ 子どもの話に共感することで、会話する楽しさを知らせる。
表現 (感性を豊かに表現する力)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 様々な素材に触れ、使ったり・作ったり・描いたりなどして楽しむ。 ・保育者に見守られながら、のり・はさみ・クレヨンなどを使って表現する。 ・はさみの持ち方を知り、1回切りを経験する。 ◎ 歌や曲に合わせて様々な楽器に親しむ ・鈴や手作り楽器などに触れ、鳴らして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 持ちやすい簡単な楽器を十分に用意する。 ☆ 季節を感じられるような環境を整える。 ☆ 制作や絵画などの活動では、ときには少人数で活動するなど、のびのびと遊べるようにする。 ○ はさみや楽器の持ち方や鳴らし方を視覚や言葉を使い、分かりやすく丁寧に伝える。
行 事	家 庭・地 域 と の 連 携	
秋祭り お楽しみ会(クリスマス会)	<ul style="list-style-type: none"> ・薄着の大切さを知らせ、気温や活動に応じて調整しやすい衣服の用意を依頼する。 ・上靴の準備を依頼する。 	

<p>育てたい 子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進級に期待感を持ち、励まされて意欲的に活動しようとする。 ・ 保育者や友達とかかわり、簡単なごっこ遊びや言葉のやりとりを楽しむ。
<p>生命の保持と 情緒の安定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の子どもの手洗い・うがいを見守り、正しい習慣が身に付くようにする。 ・ 子どもの感情を受け止め、気持ちを立て直そうとする力を育てる。
	<p style="text-align: center;">◎ねらい ・内容</p>
<p>健康 (健康な体をつくる力)</p>	<p style="text-align: center;">☆環境構成 ○保育者の援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ・ 尿意や便意がわかり、自分からトイレに行き排泄しようとする。 ・ 手洗い・うがい・衣服の着脱など、身の回りのことを自分でしようとする。 ・ 様々な食べ物に慣れ、喜んで食べようとする。 ◎ 寒さに負けず、体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・ 追いかっこや鬼ごっこなどで体を動かして遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 感染症が流行する季節なので予防に努め、温度・湿度・換気などに留意する。 ○ 自分でしようとする気持ちが育つように一人一人の発達を丁寧に捉え、必要に応じて援助する。 ○ 生活の流れや食事・排泄などの仕方を変えずに繰り返し知らせ、生活習慣が身に付くようにする。 ○ 動きが活発になってくるので、安全に気を付けながら、友達と体を動かす楽しさが経験できるようにする。
<p>人間関係 (人とかかわる力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 気の合う友達とごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・ 追いかっこ・簡単な鬼ごっこなどで、保育者や友達とかかわりながら遊ぶ。 ・ 保育者や気の合う友達と一緒に、簡単なごっこ遊びや伝承遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ ごっこ遊びがじっくりと楽しめるように、コーナーの作り方を工夫する。 ○ 様々な遊びに興味広がるように、誘ったり友達との仲立ちをしたりする。 ○ トラブルになったときには、互いの気持ちを受け止める。
<p>環境 (自然や身近な環境にかかわる力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 冬の自然に触れたり行事に参加したりして、興味・関心を持つ。 ・ 氷・霜・水の冷たさなど冬の自然に興味や関心を持ち、見たり触れたりする。 ・ 身の回りの物の色・形に、興味を持ったり違いに気付いたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 自然に親しみ、保育者と一緒に見たりかかわったりできる場を用意する。 ○ 霜・氷・白い息などの自然現象に気付き、一緒に見たり触れたりしながら、子どもの感動を受け止め共感する。
<p>言葉 (思いを伝える力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自分の思いや要求を表情や言葉で表わす喜びを味わう。 ・ 生活に必要な言葉を聞き分け、様々なできごとに関心を示し言葉で表わす。 ・ 思ったことや感じたことを身振りや手振りを交えながら、言葉で伝えようとする。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ ゆったりとした雰囲気の中で、その場面や状況に応じて自分の思いや気持ちが表せるようにする。 ○ 子どもの言葉に耳を傾け、伝える嬉しさが感じられるようにする。 ○ 子ども同士が思ったことを話せるように、言葉かけのタイミングに気を付けて、話しやすい雰囲気を作る。
<p>表現 (感性を豊かに表現する力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 絵本やお話に興味を持ち、簡単な言葉のやり取りや模倣を楽しむ。 ・ 登場人物や動物など好きなものになって、保育者や友達と一緒に遊んだり動いたりする。 ・ のり・はさみ・クレヨンなどの材料や用具を使い、自分なりに表現する。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ お話遊びやごっこ遊びが楽しめるようにペーパーサートや小道具を用意する。 ☆ 遊びの中で体を動かせるように、季節の歌やリズムカルな曲を用意する。 ☆ 素材を組み合わせるようによく用意しておく。 ○ 子ども達が好きな道具を選んで楽しめるように見守る。
<p style="text-align: center;">行 事</p>	<p style="text-align: center;">家 庭・地 域 と の 連 携</p>
<p>新年の集い 節分の集 生活発表会 ひな祭り会 お別れ会 お別れ遠足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康状態・発症の情報を速やかに伝え合い、感染症の予防や対応について共通理解を図る。 ・ 一人一人の子どもの成長した姿を伝え合い、大きくなった喜びを共に分かち合う。 ・ 進級後の生活の仕方を知らせ、スムーズに新年度が迎えられようにする。